

平成 13 年 8 月 9 日
気 象 庁 予 報 部

配信資料に関する技術情報第 90 号
～降雪量分布予報実施地域の拡大等について～
(配信資料に関する技術情報第 25 号及び 59 号関連)

気象庁では、平成 10 年 1 月から降雪量分布予報を北海道地方、東北地方、北陸地方に対し、冬期間、実施しています。

今般、降雪量が多い地域（関東地方北部、甲信地方、東海地方の一部、近畿・中国地方の日本海側）において、降雪量分布予報の実用的な精度の確認が取れたことから、平成 13 年 12 月 1 日 6 時発表の降雪量分布予報から下記のとおり実施地域を拡大します。

また、北海道・東北・北陸地方の実施期間について、下記のとおり延長等を行います。

記

降雪量分布予報の実施地域の拡大について

1 拡大する実施地域

発表官署	地方	対象府県
気象庁	関東甲信地方	長野県、山梨県、群馬県、 栃木県
名古屋地方気象台	東海地方	岐阜県
大阪管区気象台	近畿地方	兵庫県北部、京都府北部、 滋賀県北部
広島地方気象台	中国地方	島根県、鳥取県、広島県北部、 岡山県北部

* 各地方の降雪量分布予報実施格子は、添付図を参照。

2 降雪量分布予報の内容

(1) 降雪量分布予報の実施期間

12 月 1 日～翌年 3 月 31 日

(2) 予報発表時刻及び予報期間

発表時間 (中央標準時)	予報期間
6 時	6 時間降雪量分布を 24 時間先まで (4 コマ)
12 時	6 時間降雪量分布を 24 時間先まで (4 コマ)
18 時	6 時間降雪量分布を 30 時間先まで (5 コマ)

(3) 予報の形式、表現

約 20km 格子内の平均的な 6 時間降雪量を、「なし」、「2cm 以下」、「3-5cm」、「6cm 以上」の 4 階級で表示します。

3 予報の提供方法

オンライン数値データにより (財) 気象業務支援センターを經由して配信します。

(1) オンライン数値データ提供官署と情報の内容

ア 気象庁本庁

地方官署が作成した電文と、予報区の境界付近の値の整合をとった電文の 2 種類を提供します。

イ 地方予報中枢官署

担当する地方予報区の予報を提供します。

ウ 府県予報区担当官署

担当する府県予報区を含む地方予報区の予報を提供します。

(2) 通報式等

データ種類コード：KYEEii (ii は予報区ごとに異なる)

ii = 16：関東甲信

ii = 21：東海

ii = 31：近畿

ii = 36：中国

通報式：国内二進形式格子点通報式

通報内容：6 時間降雪量のレベル値を下表により報じます。

レベル値	意味
1	降雪量なし
2	2cm 以下 /6 時間
3	3-5cm/6 時間
4	6cm 以上 /6 時間
255	不明

* 降雪量分布予報を実施しない格子には、「255(不明)」が格納されます。

4 今後のスケジュール

(1) サンプルデータの提供

オンライン配信を行うデータのサンプルをご入用の方は、(財) 気象業務支援センターにご連絡ください。9 月末頃、同センターに提供する予定です。

(2) テスト配信

11月下旬からテストデータの試験配信を実施します（今回新たに発表を開始する地域のみ）。テスト配信期間中は機器の調整等のため、配信しない場合もあります。また、テスト配信は利用者側のソフト確認のために行うもので、正式な予報ではありませんので、取り扱いには留意願います。

降雪量分布予報の実施期間について

降雪量分布予報の実施期間については、北海道を12月1日～3月31日、東北及び北陸地方を12月1日～3月20日とし、必要な場合には期間の延長を行い、その旨を3月中旬ごろお知らせしていましたが、今後は全ての降雪量分布予報の実施地域について、予報実施期間を12月1日～3月31日とします。

なお、その時々々の気象条件の判断から更なる延長が必要な場合には、翌年の3月下旬ごろにお知らせします。

新たに降雪量分布予報を発表する格子

